

み言葉の分かち合いとは

「み言葉の分かち合い」と「聖書研究」との違い

聖書研究

神やキリストがなさったことを研究する

当時の言語、文化、生活などについて研究する

信仰の根拠についての知識を得る

解説や専門家などから学ぶ

み言葉の分かち合い

復活した主と直接出会い、主の現存を実感する

み言葉を聴いた後、参加者が感じたことや
体験などを分かち合う

神からのいやし、なぐさめ、力をいただく

神から直接に教えてもらう

聖書研究の役割とは？

例えば、

①信仰の教えについての十分な根拠を示すこと

②教会のすべての信者が守らなければならない
倫理的な規範の内容を明確にすること

③神のみ言葉を歴史の流れを通して理解すること

み言葉の分かち合い「七段階法」形式の例

第一段階・集いの始まりは、「神さまをお招きするための祈り」をすること

第二段階・グループの中で聖書の一文が
読まれる時、復活なさった主の
現存を実感させる「準秘跡的
なしるし」となる

第三段階・単語や短い文章を繰り返して
読む間に、しばらく沈黙を守る

第四段階・沈黙のうちにさらに深く神の
実存を実感し、その中に留ま
ることができるように努める

第五段階・各自が特に心に響いた単語や
短い文章などに関する分かち
合いを、メンバー同士で行う

「聖書研究」と「み言葉の分かち合い」
は、双方とも、信仰を強め、神さまとの
交わりを深めるうえで、欠くことの
できない大切なものである